

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
介護過程Ⅴ Process Planning for Care Work Ⅴ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(介護福祉士養成課程 必修)	介護福祉士養成課程の2年生のみ履修可
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
介護過程Ⅰ～Ⅳ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
和田晴美 森千佐子 新井文子 久保由佳		福祉棟2F	各担当教員から説明する	授業中に指示します
授業の概要				
介護過程Ⅴでは、介護過程Ⅰ～Ⅳの授業での学びを踏まえて、介護過程のまとめを行う。実習で展開した介護過程を振り返り、事例研究にまとめて発表を行うことにより、介護過程における今後の課題を明確にすることを目的とする。学生は実習担当教員からの個別指導により、文章を組み立て、発表の準備を行っていく。まとめた事例は全員の前で発表し、質問に答えることで、学生個々のプレゼンテーション能力の向上をも目指す。				
授業の目標				
①実習で展開した介護過程の振り返りを行い、評価ができるようにする。 ②事例研究の形にまとめる過程で、論理的な文章構成を意識できるようにする。 ③図書館やパソコンを利用した文献検索ができ、収集した文献を効果的に活用できるようにする。 ④パワーポイントや図・表を使った発表を行い、他者にわかりやすいプレゼンテーションをできるようにする。 ⑤他者の発表を聴くことで、自身の介護過程を振り返り、課題を明確にできるようにする。				
授業の方法				
この科目では実習で展開した介護過程を振り返り、講義や教員のセミナー形式による個別指導のもと事例研究の形にまとめ、全体での発表会を行う。研究の目的を理解し、文献の収集と活用をしながら論文を構成していく。				
学習の成果（学習成果）				
①実習で介護過程を展開した事例を、事例研究の方法に従ってまとめることで、論理的な思考過程ができる。 ②事例研究の発表を通して、個々のプレゼンテーション能力が向上し、かつ介護における自分の課題を明確にすることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（シラバスにそって授業概要、授業の目標と学習の成果、評価方法等の説明） 施設介護実習Ⅱの反省会 (和田 森 新井 久保)			
第2回目	研究とは 事例研究とは	【講義】 (和田) 【個別指導】 (和田 森 新井 久保)		
第3回目	実習で受け持った利用者の報告とまとめ 受け持ち時の介護状況～介護計画 テーマ・キーワードの決定	【個人ワーク・個別指導】 (和田 森 新井 久保)		
第4回目	図書館にてテーマ・キーワードを用いての文献検索	【講義・演習】 (新井) 【個別指導】 (和田 森 新井 久保)		
第5回目	介護過程の実践的展開① 実施・評価	【個人ワーク・個別指導】 (和田 森 新井 久保)		
第6回目	介護過程の実践的展開② 考察	【個人ワーク・個別指導】 (和田 森 新井 久保)		

第7回目	介護過程の実践的展開③ 考察	【個人ワーク・個別指導】 (和田 森 新井 久保)
第8回目	発表について 資料作成 パワーポイントの作り方	【講義・演習】 (森) 【個別指導】 (和田 森 新井 久保)
第9回目	はじめに 引用・参考文献 抄録の書き方	【個人ワーク・個別指導】 (和田 森 新井 久保)
第10回目	発表順決定 発表諸注意 発表準備 <原稿・抄録の提出日>	【講義】 (久保) 【個別指導】 (和田 森 新井 久保)
第11回目	発表準備 パワーポイントの作成	【個人ワーク・個別指導】 (和田 森 新井 久保)
第12回目	事例研究発表会①	【発表】 (和田 森 新井 久保)
第13回目	事例研究発表会②	【発表】 (和田 森 新井 久保)
第14回目	事例研究発表会③	【発表】 (和田 森 新井 久保)
第15回目	発表会のまとめ 講評 <原稿の訂正 最終提出日>	【講義・演習】 (和田 森 新井 久保)
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	50%	評価基準Sは、原稿の提出期限を厳守していること。学生自ら担当教員に積極的に指導を受け、指導が順調に進むこと。また、指導を受けた内容を受け止め、次回の指導までに修正できていること。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容 (態度含む)	50%	事例研究発表用の評価表により、10項目 (発表態度、発表の内容、資料、質問への対応等) 5段階で評価する。また、教員だけでなく発表を聴く学生も評価に参加する。評価基準の詳細は授業で説明する。
その他		
教科書と参考図書		
資料は授業で配布する。		
履修上の留意点・ルール		
学生の個人ワーク、原稿及び抄録の作成、発表用資料の作成、発表を行っていく。積極的に意見交換し学びを共有して欲しい。事例研究を仕上げていく過程では、実習担当教員との個別指導を繰り返していく。期限までに原稿が提出できるよう、担当教員との連絡を密にし、指導されたことを受け止め次回までに修正できるよう自己学習を怠らないこと。		